

ひなびた漁村の自然と生活の小道

岩地歩道

(家族向・一般向)

伊豆西南海岸の景勝を利用した猿の波勝崎口から雲見までの波勝崎歩道(20・21頁)、雲見→岩地を結ぶ三浦歩道、岩地萩谷崎をめぐる岩地歩道、の三つの遊歩道がつながり、全長15・5kmの長い遊歩道となつている。また、近くには短いながら味わいのある雲見の千貫門遊歩道があるので、ハイカーにとつて大変うれしい所である。

松崎から雲見入谷行のバスで「富士見彫刻ライン」を行く。

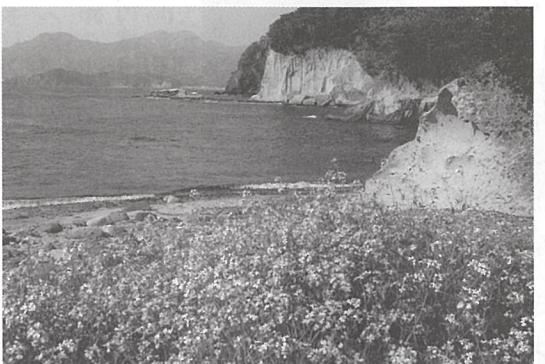
左手には岩地漁港から日和山、その向こうに雲見方面の美しい海岸線が連なっている。萩谷で下車。ここにも白い彫像が立っている。萩谷トンネルの手前と富士山の姿も見られる。小さな小屋の裏から右へ、きれいに積まれた石垣の煙の中を行く。

道はくねくねと曲がった急な灌木の中の下りで、下り切るとパッと左手が開け、眼下に白波のくだける絶壁がつづいている。

歩程 約1時間5分



▲萩谷トンネルからの桜と富士山



▲静かな萩谷海岸

案内標に従い右のうつそうと繁つた灌木の中へと下る。細い女竹が多く見られ、木道を進むと休憩舎のあら萩谷海岸に出る。あまり広くはないが波静かな澄んだ海は、知られざる絶好の海水浴場だ。海岸をつつ切って手すりのあるコンクリートの道を登る。石垣の積まれた段々煙を登り切ると、萩谷のスタート地点に戻る。萩谷トンネルを抜けて、ゆるやかに下つていくと、右手に一里塚のバース停。ここから右へと曲がると、すぐ大きな木の根元に石仏が1体。

石垣の積まれたアロウの段々煙から岩地集落が一望できる。民家の中を抜けて海岸に出る。ここに「三浦歩道」の案内板がある。

静かな岩地海岸は、夏には海水浴客でにぎわうところ。特に船の中に温泉をひいた露天風呂「ダジュール岩地」が人気を呼んでいる。(5月～10月)

しばらく行くと若山牧水の歌碑“山ねむる 山のふもとに 海眠る”かなしき春の国を旅行するがある。静かな海辺を散策したら民家の間を上り子浦浜のバス停へ。



▲岩地



▲船型の露天風呂「ダジュール岩地」(5月～10月)

